

令和7年2月21日

日光市議会議長 齋藤文明様

日光市議会議員 生井一郎

議員派遣報告書

目 的 (会議等の名称)	地方議員、地方議会のあるべき姿とは 講座1 地方議会の仕事とは 講座2 効果を上げる議員活動とは
会議等の 主催者の名称	地方議員研究会
場 所	名称等：リファレンス西新宿大京ビル 2階 住 所：東京都新宿区西新宿7丁目21-3
期 間	令和7年1月25日（土）～令和7年1月26日（日）
会議等の内容	別紙資料のとおり
会議等の 所感・成果等	初日での「地方議会の仕事では」の講座では、まず地方議会のあるべき姿として、政治活動とは選挙によって有権者から権利を付託され、選出された「選良」という意識を常に忘れず、誇りを高く処し、感情ではなく理性で政治を行うとし、情熱と判断力の二つを駆使しながら、堅い板に力をこめてじわじわと穴をくりぬいていく作業であり、主義主張や方法論が違っても「自分たちの故郷をより良くしていこう」という思いで選挙を戦って、有権者から選ばれた人たちなのだから、一つになれるはずである。という信頼ポイントを置き、会派や党派を超えた一人の人間同士と

いう関係を創り上げていくことが重要であること。そしてどうすれば、「障害を乗り越えて実現できるか」、議会事務局のサポート（特に法制面）として、議会改革の推進を提案することを理解し納得してもらうことなど、「地方議会の仕事として」議員同士の信頼関係を築き議会事務局を味方につけ、断じて挫けない政治活動の重要性の認識を学んだ。

二日目の「効果を上げる質問とは」の講座では、まず基本的ではあるが、何のために質問するのか、事実確認だけの質問だけでなく市の見解を伺い政策提言となるような質問であること。そのためには、まずは市当局と議員の課題とあるべき姿に関する認識が一致しているかを確認し、その後最適な手段は何かという議論を行うことが必要であり、そのためには争点を明確にし、かみ合う質問にすべきであり、執行部と対決するのではなく、対話する・一緒に政策（課題解決策）を考えるというスタンスが重要であること。

そしてなんといっても議員としての本気度を伝えること。そのためにも関連の勉強会への参加や情報提供をし、当事者の声を拾うなど、現場に出向く活動の重要性を改めて認識できた講座であった。

最後に、これまでの研修会では資料に基づいた説明研修であったが、今回の研修では参加者全員からアンケートを収集し、その調査結果を発表していく研修が主であった。内容は「研修にエントリーした動機やそれぞれ臨む自身の目的・そして何を学んで持ち帰りたいのか・議員活動の課題や議会活動の課題」など。参加者のそれぞれの思いや問題に寄り添って、課題解決に様々なアドバイスをいただくことができ、大変実りある研修であった。